

年末のごあいさつ



社団法人 電波産業会  
事務局長 若尾 正義

本年も残すところわずかとなりましたが、会員の皆様方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年も、会員のご協力及び総務省を始め関係各機関のご支援、ご協力のお陰を持ちまして、当会の諸事業を順調に遂行することができました。心から厚くお礼申し上げます。

さて、本年の当会の主な活動状況をご紹介します。

まず、調査研究・研究開発につきましては本年度(1)IMT及びブロードバンドワイヤレスアクセスに関する調査研究を始め6件の調査研究、(2)衛星通信を利用した個人用捜索救助システムの周波数有効利用技術に関する検討等7件の電波有効利用試験研究及び(3)国際普及型デジタル放送方式の開発に係る調査研究等3件の受託調査、(4)デジタル放送システムを始め4件の研究開発を実施しております。また、関係団体の要請により、本年度も電波環境協議会を始め12任意団体の事務局を担当しております。

次に、標準規格等の策定及び改定につきましては、規格会議を3回開催し、高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式標準規格の策定1件、標準規格の改定31件、技術資料の策定2件及び改定31件を行いました。

次に、照会相談業務につきましては、(1)電気通信業務及び公共業務の電波の周波数を使用する固定局及び地球局を対象とした回線設計及び混信計算、(2)電波伝搬障害防止のための高層建築物と電波伝搬路の位置関係の計算等を実施しており、本年1月から11月末までに984件の処理を行いました。情報提供業務につきましては、継続してインターネットにより無償で提供しています。

次に、普及啓発業務につきましては、第20回「電波功績賞」を電波の有効かつ適正な利用に特別な功績を挙げられた7団体に授与又は贈呈して表彰すると共に、ARIB機関誌を5回、ARIBニュースを48回発行し、会員に配布しました。また、電波利用講演会・電波利用懇話会をそれぞれ2回、技術セミナー・技術ワークショップをそれぞれ1回開催し、会員を始め電波関係者に電波の利用に関する情報の提供を行いました。さらに、総務省を始めとする関係

省庁、放送事業者、企業等と連携し、我が国の地上デジタルテレビジョン放送方式（ISDB-T方式）の国際普及活動にも積極的に取り組み、本年中に南米4カ国において日本方式の採用が決定されました。

次に、特定周波数変更対策業務につきましては、平成14年度から対策を実施してきましたが、現在、新たな地上デジタルテレビジョン中継局の開設に際し、地上アナログテレビジョン放送に混信等の影響を及ぼす場合の受信障害対策を実施しています。

また、12月には一般社団法人へ移行するための申請を行いました。

以上述べましたように、本年の当会の諸事業は順調に遂行されましたが、明年も総務大臣指定の「電波有効利用促進センター」及び「指定周波数変更対策機関」として、新しい電波利用システムの研究開発業務、標準規格の策定業務、照会相談業務、情報提供業務、特定周波数変更対策業務の円滑な実施を最重要事項として、役職員一丸となって積極的に推進して参りたいと存じますので、本年と同様、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様方、明年もますますご健勝でご発展されますようお祈り申し上げまして、年末のごあいさつといたします。

## ARIBの動き

### 第75回規格会議を開催

平成21年12月16日に第75回規格会議を東海大学校友会館（霞が関ビル）において開催しました。

今回は、次に掲げる標準規格の改定10件、廃止1件、技術資料の策定1件及び改定4件について審議され、すべて提案のとおり承認されました。

- 1 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System標準規格及び技術資料の改定について
- 2 IMT-2000 MC-CDMA System標準規格及び技術資料の改定について
- 3 OFDMA / TDMA TDD Broadband Wireless Access System (Next Generation PHS)標準規格の改定について
- 4 光無線LANシステム標準規格の改定について
- 5 第二世代小電力データ通信システム/ワイヤレスLANシステム標準規格の改定について
- 6 特定小電力無線局150MHz帯動物検知通報システム用無線局の無線設備標準規格の改定について
- 7 小電力無線局解説書技術資料の策定について
- 8 構内無線局19GHz帯データ伝送用無線設備標準規格の廃止について
- 9 CSデジタル放送用受信装置標準規格(望ましい仕様)の改定について

- 10 デジタル放送用受信装置標準規格(望ましい仕様)の改定について
- 11 地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式標準規格の改定について
- 12 デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格の改定について
- 13 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料の改定について
- 14 BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料の改定について



第75回規格会議の様子

今回の策定又は改定の概要は次のとおりです。

- 1 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System標準規格及び技術資料(ARIB STD-T63 Ver.7.40及びARIB TR-T12 Ver.7.40)

第74回規格会議（平成21年7月開催）において承認されたVer.7.30の標準規格及び技術資料に対して、3GPP TSG第44回（2009年6月Aruba開催）並びに第45回（2009年9月Seville開催）会合において承認された仕様の追加又は改定を反映させ、Ver.7.40として改定しました。

今回の改定のポイントは、新たにW-CDMA方式携帯電話用小電力レピータ技術規格をARIB STD-T63-25.A01:The Low Power Repeaters for DS-CDMAとして本標準規格に含めたことです。

他にもリリース7、リリース8を中心に、技術仕様並びに技術資料の追加及び修正がありましたが、リリース8は平成20年12月開催の3GPP TSG第42回会合において凍結されているため、新しい技術仕様・技術資料の追加に特筆すべきものではありません。

- 2 IMT-2000 MC-CDMA System標準規格及び技術資料(ARIB STD-T64 Ver.5.00及びARIB TR-T13 Ver.5.00)

2009年4月から8月に3GPP2が制定した仕様、技術資料への対応及び既存のARIB STD-T64規格の誤記訂正のため、ARIB STD-T64 / TR-T13

Ver.5.00として改定しました。

STD-T64の主な改定内容は次のとおりです。

(1) 新規規格の追加

- ① 音声コーデック仕様
- ② 位置情報サービス仕様
- ③ ICカード仕様
- ④ コンフォーマンス試験仕様
- ⑤ WiMAX ? HRPDシステム間インタワーク仕様
- ⑥ E-UTRAN ? HRPDシステム間インタワーク仕様

(2) 既存規格の改定

- ① セキュリティアルゴリズム仕様

(3) 既存規格の抹消

- ① コンフォーマンス試験仕様

(4) その他、誤記訂正

3 OFDMA / TDMA TDD Broadband Wireless Access System (Next Generation PHS)標準規格 (ARIB STD-T95 Ver.1.3)

2009年4月にXGP Forumが改版制定した仕様を導入するために、ARIB STD-T95 Ver.1.3として改定しました。

主な改定内容は次のとおりです。

(1) PHY Layer規格の主な修正

- ① アップリンク制御チャンネルの参照信号パターン番号を修正
- ② ダウンリンク先頭のOFDMシンボルのガードインターバル長を修正
- ③ ユーザ個別制御チャンネル (ANCH) のUL送信電力制御を行うための制御ビットをPHYヘッダ情報に追加

(2) MAC Layer規格の主な修正

- ① 再送制御メッセージ中に相手からの応答を要求するビットを追加
- ② MACフレーム接続をするときの必要条件を変更
- ③ 無効な情報要素を受信したときのエラー処理を明確化

(3) MAC情報要素・メッセージの修正

- ① 制御チャンネルのメッセージタイプを指定するフィールドのビット幅の修正
- ② ユーザコネクション情報 (QCS) を一度に複数伝達できるように情報要素を修正
- ③ 規制情報を送信するためのメッセージフォーマットを修正

なお、第4項以降の策定又は改定の概要については、次号で紹介する予定です。

## 第164回技術委員会（通信・放送合同）を開催

第164回技術委員会（通信・放送合同）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

1 日時 平成21年12月16日(水) 午後4時から5時20分まで

2 場所 当会第2、3会議室

3 議事概要

- (1)電波産業年鑑2009の発行について報告がありました。
- (2)新たな電波の活用ビジョンに関する検討について説明がありました。
- (3)小電力無線システム委員会報告（案）に対する意見の募集について説明がありました。
- (4)総務省の予算事業等に関するご意見の募集について説明がありました。

### 編集後記

今年もあとわずかとなり、本号が今年最後のARIBニュースとなります。当会着任1年目の私にとっては未経験業務の連続で、あっという間の1年でした。来年も企画国際部のメンバー全員でARIBニュースの編集を担当していきますので、よろしく願いいたします。

なお、当会の本年の業務は12月25日(金)で終了し、来年は1月4日(月)から業務を開始します。

皆様、どうぞ良い年をお迎えください。

(S.K)

[ページの先頭に戻る ▲](#)